

資料3-1 硬化肉盛用溶接材料に対する算出例【クロム及び3価クロム化合物】

本作業シートでは、次のことを前提として算出しております。算出に際しては、水色の欄に該当データをご記入ください。
 ・ヒュームについては、移動量が把握できる場合は「土壌への排出及び廃棄物」、移動量が把握できない場合は「大気への排出」としています。
 ・スラグ、スパッタ及び残材については、すべて「廃棄物」として算出しています。
 ・溶接工程における水域への排出量は、「0」とみなしています。
 ・廃棄物については、すべて事業所外への移動としています。

この作業シートは、溶接工程における指定化学物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。
 (工程) 溶接材料 CRH-3, 4.0mmφ × 350mmを用いて溶接
 溶接材料 MT-600, 1.2mmφ, 20kgスプール巻きワイヤをシールドガスCO₂を用いて溶接
 溶接材料 STL-21G, 3.2mmφ, 5kg溶加棒を用いて溶接
 溶接材料 H-410, 0.4mmφ × 50mmw × 60kg及びフラックス Bond-CXRH, 20kgを用いて肉盛溶接

指定化学物質及びそれを取り扱う工程の名称		(1)溶接材料に含まれる指定化学物質の年間取扱量の算出					(2)残材中に含まれる指定化学物質の含有量の算出		(3)指定化学物質の溶接による製造品としての搬出量の算出			(4)指定化学物質のヒュームとしての排出量及び移動量の算出	
指定化学物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる指定化学物質名	Bを含む溶接材料の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	残材率	残材中のBの含有量	C中のBの溶着金属への移行率	C中のBの製造品としての搬出量	Bの製造品としての搬出量の合計	Bのヒュームへの移行率	Bのヒュームとしての移動量及び排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	% H	kg/年 I =F×H÷100	% J	kg/年 K =(F-I)×J÷100	kg/年 L (Kの合計)	% M	kg/年 N =(F-I)×M÷100
溶接	クロム及び3価クロム化合物	CRH-3	10000	25	2,500	8,125	14	350.00	85	1,827.50	6,565.63	0.8	17.20
		MT-600	10000	7.0	700		0.15	1.05	90	629.06		0.8	5.59
		STL-21G	10000	28	2,800		5	140.00	99.9	2,657.34		0.1	2.66
		H-410	10000	13	1,300		0.6	7.80	90	1,162.98		0	0
		Bond-CXRH	15000	5.5	825		0	0	35	288.75		0	0

溶接材料のSDS 3項の値を用いてください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表1-1, 1-2及び1-3をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表2をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表3をご利用ください。

(5)指定化学物質の環境への排出量の算出		(6)廃棄物に含まれる移動量の算出	
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合			
(5A)	ヒュームの土壌への排出率 %	Bのヒュームとしての土壌への排出量 kg/年 Q =N×P÷100	(6A) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 R =F-K-Q
	P	Q	R
	1	0.17	672.33
	1	0.06	70.88
	1	0.03	142.63
	0	0	137.02
	0	0	536.25
↑ 貴社のデータをご使用ください。			
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合			
(5B)	Bのヒュームとしての大気への排出量 kg/年 S =N	(6B) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 T =F-K-S	
	S	T	
	17.20	655.30	
	5.59	65.35	
	2.66	140.00	
	0	137.02	
	0	536.25	

(7)本工程における排出量、移動量の集計							
(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出 kg/年 W	公共用水域への排出 kg/年 X	当該事業所における土壌への排出 kg/年 Y =Q	当該事業所における埋立処分 kg/年 Z	下水道への移動 kg/年 AA	当該事業所外への移動 kg/年 AB =R
U	V =B	W	X	Y	Z	AA	AB
68	クロム及び3価クロム化合物			0.17			672.33
				0.06			70.88
				0.03			142.63
				0			137.02
				0			536.25
合計		0.00	0.00	0.26	0.00	0.00	1559.11
(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出 kg/年 AE =S	公共用水域への排出 kg/年 AF	当該事業所における土壌への排出 kg/年 AG	当該事業所における埋立処分 kg/年 AH	下水道への移動 kg/年 AI	当該事業所外への移動 kg/年 AJ =T
AC	AD =B	AE	AF	AG	AH	AI	AJ
68	クロム及び3価クロム化合物	17.20					655.30
		5.59					65.35
		2.66					140.00
		0					137.02
		0					536.25
合計		25.45	0.00	0.00	0.00	0.00	1533.92

※数値は、Cに含まれるBの年間取扱量(F)を除き、小数点以下2桁で算出及び表示しています。

資料3-1 硬化肉盛用溶接材料に対する算出例 【ニッケル】

本作業シートでは、次のことを前提として算出しております。算出に際しては、水色の欄に該当データをご記入ください。
 ・ヒュームについては、移動量が把握できる場合は「土壌への排出及び廃棄物」、移動量が把握できない場合は「大気への排出」としています。
 ・スラグ、スパッタ及び残材については、すべて「廃棄物」として算出しています。
 ・溶接工程における水域への排出量は、「0」とみなしています。
 ・廃棄物については、すべて事業所外への移動としています。

この作業シートは、溶接工程における指定化学物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。
 (工程) 溶接材料 CRH-3, 4.0mmφ × 350mmを用いて溶接
 溶接材料 MT-600, 1.2mmφ, 20kgスプール巻きワイヤをシールドガスCO₂を用いて溶接
 溶接材料 STL-21G, 3.2mmφ, 5kg溶加棒を用いて溶接
 溶接材料 H-410, 0.4mmφ × 50mmw × 60kg及びフラックス Bond-CXRH, 20kgを用いて肉盛溶接

指定化学物質及びそれを取り扱う工程の名称		(1)溶接材料に含まれる指定化学物質の年間取扱量の算出					(2)残材に含まれる指定化学物質の含有量の算出		(3)指定化学物質の溶接による製造品としての搬出量の算出			(4)指定化学物質のヒュームとしての排出量及び移動量の算出	
指定化学物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる指定化学物質名	Bを含む溶接材料の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	残材率	残材中のBの含有量	C中のBの溶着金属への移行率	C中のBの製造品としての搬出量	Bの製造品としての搬出量の合計	Bのヒュームへの移行率	Bのヒュームとしての移動量及び排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	% H	kg/年 I =F×H÷100	% J	kg/年 K =(F-I)×J÷100	kg/年 L (Kの合計)	% M	kg/年 N =(F-I)×M÷100
		STL-21G	10000	2.5	250	250	5	12.50	99.9	237.26	237.26	0.1	0.24
溶接	ニッケル												

溶接材料のSDS 3項の値を用いてください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表1-1、1-2及び1-3をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表2をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表3をご利用ください。

(5)指定化学物質の環境への排出量の算出		(6)廃棄物に含まれる移動量の算出	
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合			
(5A) ヒュームの土壌への排出率	Bのヒュームとしての土壌への排出量	(6A) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量	
% P	kg/年 Q =N×P÷100	kg/年 R =F-K-Q	
1	0.002	12.74	
↑ 貴社のデータをご使用ください。			
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合			
(5B) Bのヒュームとしての大気への排出量	(6B) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量		
kg/年 S =N	kg/年 T =F-K-S		
0.24	12.50		

(7)本工程における排出量、移動量の集計							
(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所外への移動
U	V =B	kg/年 W	kg/年 X	kg/年 Y =Q	kg/年 Z	kg/年 AA	kg/年 AB =R
231	ニッケル			0.002			12.74
合計		0.00	0.00	0.002	0.00	0.00	12.74
(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所外への移動
AC	AD =B	kg/年 AE =S	kg/年 AF	kg/年 AG	kg/年 AH	kg/年 AI	kg/年 AJ =T
231	ニッケル	0.24					12.50
合計		0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	12.50

※数値は、Cに含まれるBの年間取扱量(F)を除き、小数点以下2桁で算出及び表示しています。

資料3-1 硬化肉盛用溶接材料に対する算出例【コバルト及びその化合物】

本作業シートでは、次のことを前提として算出しております。算出に際しては、水色の欄に該当データをご記入ください。
 ・ヒュームについては、移動量が把握できる場合は「土壌への排出及び廃棄物」、移動量が把握できない場合は「大気への排出」としています。
 ・スラグ、スパッタ及び残材については、すべて「廃棄物」として算出しています。
 ・溶接工程における水域への排出量は、「0」とみなしています。
 ・廃棄物については、すべて事業所外への移動としています。

この作業シートは、溶接工程における指定化学物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。
 (工程) 溶接材料 CRH-3, 4.0mmφ × 350mmを用いて溶接
 溶接材料 MT-600, 1.2mmφ, 20kgスプール巻きワイヤをシールドガスCO₂を用いて溶接
 溶接材料 STL-21G, 3.2mmφ, 5kg溶加棒を用いて溶接
 溶接材料 H-410, 0.4mmφ × 50mmw × 60kg及びフラックス Bond-CXRH, 20kgを用いて肉盛溶接

指定化学物質及びそれを取り扱う工程の名称		(1)溶接材料に含まれる指定化学物質の年間取扱量の算出					(2)残材中に含まれる指定化学物質の含有量の算出		(3)指定化学物質の溶接による製造品としての搬出量の算出			(4)指定化学物質のヒュームとしての排出量及び移動量の算出	
指定化学物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる指定化学物質名	Bを含む溶接材料の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	残材率	残材中のBの含有量	C中のBの溶着金属への移行率	C中のBの製造品としての搬出量	Bの製造品としての搬出量の合計	Bのヒュームへの移行率	Bのヒュームとしての移動量及び排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	% H	kg/年 I =F×H÷100	% J	kg/年 K =(F-I)×J÷100	kg/年 L (Kの合計)	% M	kg/年 N =(F-I)×M÷100
溶接	コバルト及びその化合物	STL-21G	10000	62	6,200	6,200	5	310.00	99.9	5,884.11	5,884.11	0.1	5.89

溶接材料のSDS 3項の値を用いてください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表1-1、1-2及び1-3をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表2をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表3をご利用ください。

(5)指定化学物質の環境への排出量の算出		(6)廃棄物に含まれる移動量の算出	
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合			
(5A) ヒュームの土壌への排出率	Bのヒュームとしての土壌への排出量	(6A) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量	
% P	kg/年 Q =N×P÷100	kg/年 R =F-K-Q	
1	0.06	315.83	
↑ 貴社のデータをご使用ください。			
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合			
(5B) Bのヒュームとしての大気への排出量	(6B) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量		
kg/年 S =N	kg/年 T =F-K-S		
5.89	310.00		

(7)本工程における排出量、移動量の集計							
(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所外への移動
U	V	kg/年 W	kg/年 X	kg/年 Y =Q	kg/年 Z	kg/年 AA	kg/年 AB =R
100	コバルト及びその化合物			0.06			315.83
合計		0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	315.83
(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所外への移動
AC	AD	kg/年 AE =S	kg/年 AF	kg/年 AG	kg/年 AH	kg/年 AI	kg/年 AJ =T
100	コバルト及びその化合物	5.89					310.00
合計		5.89	0.00	0.00	0.00	0.00	310.00

※数値は、Cに含まれるBの年間取扱量(F)を除き、小数点以下2桁で算出及び表示しています。

資料3-1 硬化肉盛用溶接材料に対する算出例【マンガン及びその化合物】

本作業シートでは、次のことを前提として算出しております。算出に際しては、水色の欄に該当データをご記入ください。
 ・ヒュームについては、移動量が把握できる場合は「土壌への排出及び廃棄物」、移動量が把握できない場合は「大気への排出」としています。
 ・スラグ、スパッタ及び残材については、すべて「廃棄物」として算出しています。
 ・溶接工程における水域への排出量は、「0」とみなしています。
 ・廃棄物については、すべて事業所外への移動としています。

この作業シートは、溶接工程における指定化学物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。
 (工程) 溶接材料 CRH-3, 4.0mmφ × 350mmを用いて溶接
 溶接材料 MT-600, 1.2mmφ, 20kgスプール巻きワイヤをシールドガスCO₂を用いて溶接
 溶接材料 STL-21G, 3.2mmφ, 5kg溶加棒を用いて溶接
 溶接材料 H-410, 0.4mmφ × 50mmw × 60kg及びフラックス Bond-CXRH, 20kgを用いて肉盛溶接

指定化学物質及びそれを取り扱う工程の名称		(1)溶接材料に含まれる指定化学物質の年間取扱量の算出					(2)残材中に含まれる指定化学物質の含有量の算出		(3)指定化学物質の溶接による製造品としての搬出量の算出			(4)指定化学物質のヒュームとしての排出量及び移動量の算出	
指定化学物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる指定化学物質名	Bを含む溶接材料の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	残材率	残材中のBの含有量	C中のBの溶着金属への移行率	C中のBの製造品としての搬出量	Bの製造品としての搬出量の合計	Bのヒュームへの移行率	Bのヒュームとしての移動量及び排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	% H	kg/年 I =F×H÷100	% J	kg/年 K =(F-I)×J÷100	kg/年 L (Kの合計)	% M	kg/年 N =(F-I)×M÷100
溶接	マンガン及びその化合物	Bond-CXRH	15000	5.0	750	750	0	0	25	187.50	187.50	0	0

溶接材料のSDS 3項の値を用いてください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表1-1、1-2及び1-3をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表2をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表3をご利用ください。

(5)指定化学物質の環境への排出量の算出		(6)廃棄物に含まれる移動量の算出	
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合			
(5A) ヒュームの土壌への排出率	Bのヒュームとしての土壌への排出量	(6A) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量	
% P	kg/年 Q =N×P÷100	kg/年 R =F-K-Q	
0	0	562.50	
↑ 貴社のデータをご使用ください。			
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合			
(5B) Bのヒュームとしての大気への排出量	(6B) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量		
kg/年 S =N	kg/年 T =F-K-S		
0	562.50		

(7)本工程における排出量、移動量の集計							
(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所外への移動
U	V	kg/年 W	kg/年 X	kg/年 Y =Q	kg/年 Z	kg/年 AA	kg/年 AB =R
311	マンガン及びその化合物			0			562.50
合計		0.00	0.00	0	0.00	0.00	562.50
(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所外への移動
AC	AD	kg/年 AE =S	kg/年 AF	kg/年 AG	kg/年 AH	kg/年 AI	kg/年 AJ =T
311	マンガン及びその化合物	0					562.50
合計		0	0.00	0.00	0.00	0.00	562.50

※数値は、Cに含まれるBの年間取扱量(F)を除き、小数点以下2桁で算出及び表示しています。

資料3-1 硬化肉盛用溶接材料に対する算出例【モリブデン及びその化合物】

本作業シートでは、次のことを前提として算出しております。算出に際しては、水色の欄に該当データをご記入ください。
 ・ヒュームについては、移動量が把握できる場合は「土壌への排出及び廃棄物」、移動量が把握できない場合は「大気への排出」としています。
 ・スラグ、スパッタ及び残材については、すべて「廃棄物」として算出しています。
 ・溶接工程における水域への排出量は、「0」とみなしています。
 ・廃棄物については、すべて事業所外への移動としています。

この作業シートは、溶接工程における指定化学物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。
 (工程) 溶接材料 CRH-3, 4.0mmφ × 350mmを用いて溶接
 溶接材料 MT-600, 1.2mmφ, 20kgスプール巻きワイヤをシールドガスCO₂を用いて溶接
 溶接材料 STL-21G, 3.2mmφ, 5kg溶加棒を用いて溶接
 溶接材料 H-410, 0.4mmφ × 50mmw × 60kg及びフラックス Bond-CXRH, 20kgを用いて肉盛溶接

指定化学物質及びそれを取り扱う工程の名称		(1)溶接材料に含まれる指定化学物質の年間取扱量の算出					(2)残材中に含まれる指定化学物質の含有量の算出		(3)指定化学物質の溶接による製造品としての搬出量の算出			(4)指定化学物質のヒュームとしての排出量及び移動量の算出	
指定化学物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる指定化学物質名	Bを含む溶接材料の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	残材率	残材中のBの含有量	C中のBの溶着金属への移行率	C中のBの製造品としての搬出量	Bの製造品としての搬出量の合計	Bのヒュームへの移行率	Bのヒュームとしての移動量及び排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	% H	kg/年 I =F×H÷100	% J	kg/年 K =(F-I)×J÷100	kg/年 L (Kの合計)	% M	kg/年 N =(F-I)×M÷100
溶接	モリブデン及びその化合物	STL-21G	10000	5.5	550	1,000	5	27.50	99.9	521.98	724.48	0.1	0.52
		Bond-CXRH	15000	3.0	450		0	0	45	202.50		0	0

溶接材料のSDS 3項の値を用いてください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表1-1、1-2及び1-3をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表2をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表3をご利用ください。

(5)指定化学物質の環境への排出量の算出		(6)廃棄物に含まれる移動量の算出	
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合			
(5A) ヒュームの土壌への排出率	Bのヒュームとしての土壌への排出量	(6A) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量	
% P	kg/年 Q =N×P÷100	kg/年 R =F-K-Q	
1	0.01	28.01	
0	0	247.50	
↑ 貴社のデータをご使用ください。			
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合			
(5B) Bのヒュームとしての大気への排出量	(6B) Bの残材を含めた廃棄物としての移動量		
kg/年 S =N	kg/年 T =F-K-S		
0.52	27.50		
0	247.50		

(7)本工程における排出量、移動量の集計							
(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所外への移動
U	V	kg/年 W	kg/年 X	kg/年 Y =Q	kg/年 Z	kg/年 AA	kg/年 AB =R
346	モリブデン及びその化合物			0.01			28.01
				0			247.50
合計		0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	275.51
(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合							
物質番号	指定化学物質名	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所外への移動
AC	AD	kg/年 AE =S	kg/年 AF	kg/年 AG	kg/年 AH	kg/年 AI	kg/年 AJ =T
346	モリブデン及びその化合物	0.52					27.50
		0					247.50
合計		0.52	0.00	0.00	0.00	0.00	275.00

※数値は、Cに含まれるBの年間取扱量(F)を除き、小数点以下2桁で算出及び表示しています。

資料3-1 硬化肉盛用溶接材料に対する算出例

(7)本工程における排出量、移動量の集計						
(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合						
第一種指定化学物質の名称		クロム及び3価クロム化合物	ニッケル	コバルト及びその化合物	マンガン及びその化合物	モリブデン及びその化合物
第一種指定化学物質の番号		68	231	100	311	346
排出量	イ 大気への排出 (各指定化学物質Wの合計)	kg/年 AM	0.00	0.00	0.00	0.00
	ロ 公共用水域への排出 (各指定化学物質Xの合計)	kg/年 AN	0.00	0.00	0.00	0.00
	ハ 当該事業所における土壌への排出(ニ以外) (各指定化学物質Yの合計)	kg/年 AO	0.26	0.00	0.06	0.00
	ニ 当該事業所における埋立処分 (各指定化学物質Zの合計)	kg/年 AP	0.00	0.00	0.00	0.00
移動量	イ 下水道への移動 (各指定化学物質AAの合計)	kg/年 AQ	0.00	0.00	0.00	0.00
	ロ 当該事業所の外への移動(イ以外) (各指定化学物質ABの合計)	kg/年 AR	1,559.11	12.74	315.83	562.50
(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合						
第一種指定化学物質の名称		クロム及び3価クロム化合物	ニッケル	コバルト及びその化合物	マンガン及びその化合物	モリブデン及びその化合物
第一種指定化学物質の番号		68	231	100	311	346
排出量	イ 大気への排出 (各指定化学物質AEの合計)	kg/年 AS	25.45	0.24	5.89	0.00
	ロ 公共用水域への排出 (各指定化学物質AFの合計)	kg/年 AT	0.00	0.00	0.00	0.00
	ハ 当該事業所における土壌への排出(ニ以外) (各指定化学物質AGの合計)	kg/年 AU	0.00	0.00	0.00	0.00
	ニ 当該事業所における埋立処分 (各指定化学物質AHの合計)	kg/年 AV	0.00	0.00	0.00	0.00
移動量	イ 下水道への移動 (各指定化学物質AIの合計)	kg/年 AW	0.00	0.00	0.00	0.00
	ロ 当該事業所の外への移動(イ以外) (各指定化学物質AJの合計)	kg/年 AX	1,533.92	12.50	310.00	562.50

※数値は小数点以下2桁で算出及び表示しています。